

いつか花咲く日のために

平成24年9月7日
広島市立中島小学校
校長だより 第5号

子どもたちの心に種をまき、水を与え、光を与え、栄養を与え
あせらず、あわてず、あきらめず、花の咲く日を待たないと、
この題をつけました。



心の平和を守る三つの鍵

「しない・負けない・許さない」

相手が傷つく、嫌がる、あるいは自分がされて嫌だと思ふことを、わざと言ったり、したりするのは、間違いなく「いじめ」です。

また、最初は遊びでも、調子に乗りすぎて、相手が傷ついているのに、そのまま止めなければ、これも「いじめ」になります。

いじめは、しない。

私も子どもの頃、いじめられたことがあります。「いじめられていること」がはずかしいような気がして、しばらくの間、じっと我慢していました。でもこのままではいけないと思い「やめてよ」と大きな声でいい、その後先生に相談しました。これは、告げ口ではありません。

いじめに、負けない。

「いじめ」を見たり聞いたりした人は、知らないふりをしてはいけません。黙っていたら、今度はあなたがいじめられるかもしれません。

いじめを、許さない。

自分がいじめられたら、友達がいじめられていることに気付いたら、助けを求めましょう。直接伝えることができなかつたら、手紙でも電話でもいいのです。

いじめ、しない・負けない・許さない。

上の話は9月3日の学校朝会でしたものです。2月7日にほぼ同じ話をしたのですが、全体で覚えていたのは30人足らずでした。繰り返し繰り返し話し伝えていくことの大切さを強く感じるとともに、心に残る内容・話し方を私自身ももっともっと身に付けたいと思いました。

今回は、広島県教育長からの緊急メッセージを掲載します。

教育長からのいじめに関する緊急メッセージ

私たちは、みなさん一人一人が「かけがえのない人」として大切にされ、安心して学校生活を送り、自分を伸ばすことができる楽しい学校にしたいと思っています。

そうしたみなさんの学校で、「いじめ」は絶対に許されません。

いじめられている人へ。
あなたは、決して一人ではありません。
つらい思いを一人で抱え込まないでください。
どんなことがあっても、自分の命を絶ってはいけません。
安心して先生やまわりの大人に相談してください。

いじめている人へ。
いじめをすぐに止めてください。
あなたの言葉や態度が、相手の心を傷つけて苦しめています。
あなたの心も傷ついているのかもしれませんが、あなたの命が大切な命であるように、相手の命も大切な命なのです。

いじめを見てはやし立てている人へ。
いじめをはやし立ててはいけません。
いじめを直接行っていないでも、はやし立てることは、いじめです。
いじめている人と同じように、人として絶対にしてはいけないことなのです。

いじめを見て見ぬふりをしている人へ。
声を出して、いじめをすぐに止めてください。
どんなに心の中で、いけないことだと思っても、何もしなければ、いじめを許していることと同じです。「いけないことは、いけない。」と言える勇気を持ってください。
いじめている人に直接言えなくても、先生やまわりの大人に必ず相談してください。

みなさんには、「いじめ」を絶対にしない人、許さない人になってほしいと願っています。

私たちは、「いじめ」を絶対に許しません。いじめられている子どもたちを絶対に守り通します。

みなさんの力で「いじめ」のない楽しい学校をつくりましょう。

平成24年8月28日

広島県教育委員会
教育長 下崎 邦明

